

海外邦人安全対策情報（平成27年7月～9月（平成27年度第2四半期））

1. 社会・治安情勢

（1）3月26日以降イエメン全土で、ハーディ大統領の要請を受けたサウジアラビア主導の有志連合軍による軍事行動が継続されています。有志連合軍はホーシー派が占拠した軍事基地や施設を中心に空爆を実施し、8月、アデン、マアリブ等に陸上部隊を投入しました。国内各地で、政府側とホーシー派の間で激しい武力衝突が続いており、特にタイズ、マアリブで戦闘が長期化しています。7月から8月にかけて、有志連合軍の援護を受けた政府側がアデン、ラヘジ、アビヤン等の南部地域を奪還し、9月には、サウジアラビアのリヤドに退避していたイエメン政府の拠点が部分的にアデンに移りました。

（2）国内紛争の影響により、電力、ガソリン、燃料、小麦粉、水等の供給が著しく滞り、燃料不足のため多くの病院が機能不全に陥り市民生活は崩壊に近い状態にあります。なお、7月に2度、人道支援の円滑化を目的とした一時停戦が、国連、有志連合軍のそれぞれにより発表されましたが、停戦は守られることなく戦闘が継続され、物資や燃料の流通は依然円滑に行われていません。

（3）7月、9月にサヌア市内のモスクで5度爆弾テロがあり、多くの死傷者を出しました。これらはホーシー派を標的としたテロと見られ、過激派組織 I S I L（イラク・レバントのイスラム国）が犯行声明を出しました。

（3）7月9日、アラビア半島のアル・カーイダ（AQAP）のカーシム・ライミ（6月に米無人機攻撃で死亡したナーセル・ウハイシの後継者）は、指導者として初めて音声声明を発出し、米国への攻撃を呼びかけました。イエメン国内では、アル・カーイダ、I S I Lを名乗るグループによるテロ事件は継続的に発生しています。

2. テロ・爆弾事件等発生状況（空爆等軍事衝突を除く。）

（1）7月1日、アデン市マンスーラ地区で、ホーシー派が住宅地域へ無差別攻撃を加え、12名が死亡し、40名以上が負傷しました。

（2）7月1日、サヌア市ジャダル地区のホーシー派検問所付近で I E D が爆発しました。

（3）7月2日、サヌア市内の中央銀行付近で、自動車爆弾が爆発しました。

（4）7月3日、ベイダ県ズィ・ナーイム郡の政府庁舎（ホーシー派が占拠）付近で自爆テロが発生し、実行犯が死亡しました。

（5）7月3日、ベイダ県ベイダ市の県庁舎付近で、自動車爆弾が爆発し、ホーシー派民兵数名が負傷しました。

（6）7月4日、サヌア市内の旅券当局建物の前で、ホーシー派民兵が発砲し、住民2名が死亡、4名が負傷しました。

（7）7月4日、タイズ県タイズ市で、ホーシー派民兵による住宅地域への砲撃で、住民2名が死亡し、17名が負傷しました。

- (8) 7月5日, アデン市マンスーラ地区で, ホーシー派民兵の砲撃により住民6名が死亡し, 6名が負傷しました。
- (9) 7月8日, イップ県イップ市で, 自動車爆弾が爆発し, 1名が死亡しました。
- (10) 7月7日, サヌア市ラマーハ地区のラウド・モスク正面で, 自動車爆弾が爆発し, 1名が死亡, 5名が負傷し, I S I Lが犯行声明を発出しました。
- (11) 7月9日, ホデイダ県のダリ道路で, 爆弾が爆発し死傷者が発生しました。
- (12) 7月10日, タイズ県タイズ市で, ホーシー派民兵が地元の大学教授1名を誘拐しました。
- (13) 7月10日, サヌア市内で, ホーシー派民兵が住民1名を射殺しました。
- (14) 7月11日, ベイダ県ベイダ市で, 武装勢力が同県の政党幹部を暗殺しました。
- (15) 7月12日, サヌア市内で, ホーシー派民兵が地元の青年1名を誘拐しました。
- (16) 7月13日, サヌア市内で, 身元不明の武装集団がホーシー派幹部1名を射殺しました。
- (17) 7月14日, サヌア市ハスバ地区で, I E Dが爆発し5名が負傷しました。
- (18) 7月14日, サヌア市のサヌア大学付近で, 身元不明の武装勢力が爆弾を投げ, 警備員13名が負傷しました。
- (19) 7月19日, アデン市のダール・サアド地区の住宅地域で, ホーシー派民兵が無差別砲撃を行い, 市民43名が死亡し, 173名が負傷しました。
- (20) 7月20日, サヌア市ジラーフ地区のモスク前で, 自動車爆弾が爆発し, 5名が死亡, 7名が負傷し, I S I Lが犯行声明を発表しました。
- (21) 7月22日, ハド라마ウト県シバーム郡長が, 同伴者1名とともに, アル・カーイダ分子と思われる武装勢力に暗殺されました。
- (22) 7月23日, サヌア市内で複数の自動車爆弾が発見され, 解体されました。
- (23) 7月24日, イップ県イップ市でI E Dが爆発しました。
- (24) 7月26日, サヌア市南部のダール・サレム地区で, バスに仕掛けられたI E Dが爆発し, 3名が死亡し, 5名が負傷しました。
- (25) 7月29日, サヌア市ラマーハ地区にあるモスク付近で自動車爆弾が爆発し, 民間人3名が死亡, 7名が負傷し, I S I Lが犯行声明を発表しました。
- (26) 7月30日, イップ県マアイン地区でI E Dが爆発し, 清掃員1名が死亡しました。
- (27) 8月1日, サヌア市内で, ホーシー派民兵が地元記者1名を誘拐しました。
- (28) 8月2日, ベイダ県ベイダ市の政治治安総局の建物付近でアル・カーイダ分子が自爆テロを起こしました。
- (29) 8月2日, ダーリア県ダマト市で自動車爆弾が爆発し, 3名が死亡し, 3名が負傷しました。
- (30) 8月3日, サヌア市ジラーフ地区でI E Dが爆発し, 3名が負傷しました。
- (31) 8月4日, マハウィート県バニ・アリージュ地区で, 最高革命委員会(ホ

ーシー派)のメンバーが、ホーシー派民兵2名とともに武装勢力に襲われ死亡しました。

(32) 8月5日、タイズ県タイズ市で、ホーシー派民兵が、地元学者1名を誘拐し、ダマール県内でイエメン人記者を誘拐しました。

(33) 8月8日、ラヘジ県で、ホーシー派民兵が敷設した地雷により、住民17名が死亡し、数十名が負傷しました。

(34) 8月8日、ホーシー派民兵がダマール県のダマール大学敷地内に侵入し、学生5名を誘拐しました。

(35) 8月9日、サヌア市で、ホーシー派民兵がイスラーハ党の女性幹部3名を誘拐(数時間後に解放)し、同日、ナセリスト党幹部を誘拐しました。

(36) 8月12日、シャブワ県アタク市の農業関係の事務所前で、自動車爆弾が爆発し、3名が死亡、数名が負傷しました。

(37) 8月13日、サヌア市ジラーフ地区にあるホーシー派幹部の自宅付近で自動車爆弾が爆発しました。

(38) 8月17日、サヌア市シュウーブ地区でIEDが爆発し、住民1名が死亡し、数名が負傷しました。

(39) 8月19日、サヌア市内で身元不明の武装勢力が刑事捜査局の将校1名及び随行者1名を暗殺しました。

(40) 8月21日、ハドラマウト県シフル市で身元不明の武装勢力の発砲により、国会議員の息子2名を含む3名が死亡しました。

(41) 8月24日、武装グループが赤十字国際委員会(ICRC)アデン事務所を襲撃し、車、現金、機材を強奪しました。これに伴い25日同事務所は活動を停止しました。

(42) 9月2日、ICRCサヌア事務所の職員2名がサヌア北部で殺害され、ICRCはイエメンでの活動停止を発表しました。

(43) 9月2日、サヌア市内ジラーフ地区のモスクで自爆テロが発生し、28名が死亡し、75名が負傷しました。ISILが犯行声明を発表しました。

(44) 9月3日、ベイダ県ベイダ市で自動車爆弾が爆発し、ホーシー派民兵5名が死亡し、10名以上が負傷しました。

(45) 9月5日、ホデイダ県ホデイダ市で、ホデイダ大学事務局長が、何者かに手榴弾を投げつけられ爆死しました。

(46) 9月5日、アデン市ラフォーム地区で、反ホーシー派幹部が身元不明の武装勢力により殺害されました。

(47) 9月8日、サヌア市内でホーシー派民兵が大学教授を誘拐しました。

(48) 9月10日、サヌア市内でホーシー派民兵が、諮問評議会(シューラー)メンバーの自宅に侵入し、同人の子息1名を誘拐しました。

(49) 9月12日、ホデイダ県ホデイダ市の治安当局建物前でIEDが爆発し、通行人1名が死亡、5名が負傷しました。

(50) 9月16日、ベイダ県ズィ・ナーイム郡で、ホーシー派民兵が敷設した地

雷により、住民9名が死亡しました。

(51) 9月17日、ベイダ県ズィ・ナーイム郡の道路上でIEDが爆発し、住民6名が死亡し、2名が負傷しました。

(52) 9月17日、ハドラマウト県ムカッラ市で、アル・カーイダ分子が国家治安総局員3名を誘拐しました。

(53) 9月20日、ホデイダ県ホデイダ市で、オートバイに乗った武装勢力がホーシー派幹部1名を射殺しました。

(54) 9月23日、タイズ県タイズ市近郊で、地雷により住民6名が死亡しました。

(55) 9月24日、サヌア市内の警察学校付近のモスクで、自爆テロが発生し、25名が死亡、数十名が負傷しました。ISILが犯行声明を発表しました。

(56) 9月29日、アデン空港周辺で地雷が爆発し、地雷除去チームのメンバー1名が死亡し、2名が負傷しました。

(57) 9月29日、サヌア市内で、地元芸術家が何者かにより暗殺されました。